

ISSN 0911-9337

和華蘭の窓

長崎大学附属図書館報

THE BULLETIN OF THE NAGASAKI UNIVERSITY LIBRARY

2016.4 No. **127**

新入生歓迎号

附属図書館紹介	2-3
先生のイチオシ本	4-5
topics	6-7
information	8

ようこそ!

附属図書館 University Library

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます! みなさんの大学生活をサポートするため、3つのキャンパス内にはそれぞれの図書館があります。今後の大学生活を充実させるためには、この図書館をいかに使いこなせるかが重要な鍵となります。そこで!メインキャンパス(文教地区)の中央図書館について、その特徴的なサービスや施設をご紹介します!

ICTサポートカウンター

貸出・返却カウンターの隣には、ICTサポートカウンターがあります。パソコンの利用やトラブルなどについて、専門スタッフが相談を受け付けます。

●受付時間 平日10時~17時



気軽にお尋ね
ください



長大 Wi-Fi への接続、印刷方法等々、ちょっとしたことでも気軽に質問できます。

ライブラリーラウンジ

2階ライブラリーラウンジは、館内で唯一飲食可能な部屋です。図書館内では珍しく声も出せる場所なので、可動式の机を使ってグループ学習に活用できます。English cafe が開催されることもあります。



飲食OKといっても軽食程度。汁物や匂いの強いものはNG。他にテラスでも食事できます。

ギャラリー

1階奥にはギャラリースペースがあります。図書館所蔵の貴重資料展示のほか、学内者ならどなたでも使えるスペースでは、折々の展示が開催されます。パネルによる研究発表や作品展示など、使い方はあなた次第!



これまで書道部や華道部、教育美術科OBや課外活動の発表等が行われました。

閲覧室

2階と3階には、書架と閲覧席が配置されています。貸出可能な図書が集まる2階には、「レポート作成」や「語学学習」、「就職活動支援」などのコーナーも充実！参考図書・郷土資料が閲覧できる3階はサイレントルームとなっています。



館内の資料は蔵書検索ツール OPAC(オーパック) でどこにあるか確認できます。うまく見つからない時は、1階カウンターで相談しましょう。

ラーニングコモンズ

学生の主体的な学習を応援するべく1階に造られたのがこちらのラーニングコモンズ！可動式の机やホワイトボードを備え、グループ学習ができるよう会話OKとなっています。プレゼン発表の練習ができる個室（グループ学習室：予約制）も大小完備！その他、学習支援の図書やICT基盤センター設置PC、視聴覚資料を閲覧するAVブースも備えています。



ラーニングコモンズ（略してラーコモ）には、レポート作成や研究発表に役立つ図書（貸出可）を置いています。また、軽雑誌もあるので、ちょっとした息抜きの場にもなります。

医学分館 Medical Library



医学分館は坂本キャンパスにあり、医学・歯学系の資料を中心に所蔵しています。1階には、ラーニングコモンズやリフレッシュルーム、グループ学習室、セミナー室もあるのでグループ学習に最適です。また、ICTサポートカウンターも開設されています。2階には、ハイカウンターや個別席があり、静かな環境で学習できます。

経済学部分館 Economics Library



片淵キャンパスにある図書館です。経済学部生向けに、経済学関係の本を中心に所蔵しています。専門的な図書だけでなく、就活や資格取得

に役立つ本や、語学の本、小説なども置いています。ICTサポートカウンターも毎週水曜日に開設されます。文教キャンパスからは離れていますが、ぜひご利用ください。

読まなきゃ損!

先生のイチオシ本

各学部の先生方が、新入生のおすすめする本をセレクト。これを読んで大学生活をスタートすれば、他の人と差がつくこと間違いなし!



1

「日本文化史研究 上下」内藤湖南著
講談社 1976



2

「アル・ゴア 未来を語る：世界を動かす6つの要因」
アル・ゴア著；中 小路佳代子訳
KADOKAWA, 2014



3

「青春の門」五木寛之著
講談社 1970



4

「啓蒙とは何か：他四篇」カント著；篠田英雄訳
岩波書店, 1974

日本文化を論説する名著である。応仁の乱は下克上の叛乱でなく、日本文化を形成する契機とは鋭い洞察である。「文化中心移動説」、中国文化は日本文化の「ニガリ説」などは、螺旋史観を展開した先駆的な見解である。



1

多文化社会学部
連 清吉 先生

私が学生時代に出会った本です。自分の歩む道は決して単純とはいえません。迷って、悩んで、立ち止まって…を繰り返し、誰しもが通る「青春の門」。その先に何が見えるのか。等身大の自分と向き合あえる1冊です。



3

経済学部
庵谷 治男 先生

米国政治の要人が、該博な知識で世界のあらゆる問題を論じた警世の書。コンピューター依存と記憶力低下、ロボット化と雇用喪失など、大学生に身近な問題が分かり易く解説され、日米政治家の質の差が歴然と分かる一冊。



2

教育学部
勝俣 隆 先生

自ら考えることにより理解しようと努力することが知的未成年状態からの脱出である。カントはこれが「啓蒙」の本質であると言う。大学時代に、これを頭で理解するだけでなく、実践できるようになって欲しい。



4

医学部
中込 治 先生





5

「皇帝フリードリッヒ二世の生涯 上下」塩野七生著 新潮社、2013



6

「新薬スタチンの発見：コレステロールに挑む」遠藤章著 岩波書店、2006



7

「科学革命の構造」トーマス・クーン著；中山茂訳 みすず書房、1971



8

「沈黙の春」レイチェル・カーソン著；青樹繁一訳 新潮社、2001

「奪われし未来」シーア・コルボーン[ほか]著；長尾力、堀千恵子訳 翔泳社、2001



9

「水から出た魚たち：ムツゴロウとトビハゼの挑戦」田北徹、石松惇共著 海游舎、2015

塩野七生氏にとって歴史とは、個人が作りあげた結果であって、誰がやっても同じ結果になったなどということは決してない。今回は、塩野七生氏導入本として、近作の「皇帝フリードリッヒ二世の生涯」をご紹介したい。長いキリスト教社会が続いたのちに、ルネサンスの先駆けとなった異能の皇帝を描いた力作である。



5

歯学部
根本 孝幸 先生

昨年のノーベル医学生理学賞は、大村智先生のイベルメクチン開発に対して与えられた。日本人が開発した独創的な薬はこの他にもたくさんあるが、その1つが遠藤章博士により開発されたスタチンと呼ばれる高脂血症治療薬であろう。この本にて新薬開発の臨場感を味わって欲しい。



6

薬学部
田中 正一 先生

大学低学年では、語学とともに、専門にとらわれない幅広い分野の勉強をして欲しいと思います。そして、サイエンスの何たるかを知りたいという野心がある人は、是非、この本を読んでみて下さい。頭が柔らかいうちに。



7

工学部
馬越 啓介 先生

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大学生になりましたので専門以外の分野の本にも挑戦し、様々な知識や知恵をどんどん吸収して大人な大学生を目指して欲しいと思います。私からの推薦はこの2冊です。これらは人間活動により自然界に撒き散らされた化学物質が野生生物に影響をおよぼすことを記した書です。どちらも図書館に所蔵されていますので皆さんに読んでいただければと思います。



8

環境科学部
高尾 雄二 先生

本書は有明海に生息するムツゴロウやトビハゼの生態に関する良質な研究書ですが、生物の面白さが伝わってくる大変興味ある書物です。干潟の特殊性の理解の助けになる他、環境問題に目を向けるきっかけとなる本です。



9

水産学部
小田 達也 先生

▶ 学生懇談会を開催（中央図書館・医学分館）

附属図書館では、学生のみなさんからのご意見やご要望を直接伺う懇談会を開催し、図書館サービスの向上に努めています。

今回、中央図書館と医学分館合わせて25名の方々にご参加いただき、図書館の資料・施設・サービスについて多くの意見や提案が出されました。

すぐに改善できるものは改善し、サービスの向上につなげていきます。図書館に対するご意見・ご要望がありましたら、お気軽にカウンターまたは館内設置の投書箱にお寄せください。

ご意見・ご要望（一部）

●土日の開館時間を延ばして欲しい

→改善しました！（詳しくはp8へ）

●リクエスト制度のアナウンスがほしい。

●広報に、学部への掲示板やメールを活用してはどうか。

●グループ学習室について、借りることができる時間が短い。予約がなければ、続けて借りることができるようにしてほしい。web予約をスマホでする場合、わかりにくい。

→改善しました！ 医学分館グループ学習室の1回の申請時間限度を90分から120分に延長しました

●医学分館の改修で座席が増えたのはありがたい。

●高次脳機能、作業療法評価学に関する図書がほしい。

→改善しました！ 高次脳機能・作業療法評価学・心電図検定に関する図書を購入しました



開催日	参加者数	司会	開催館	学部
12月4日	8名	根本教授	医学	歯学部
12月10日	4名	由井医学分館長	医学	医学部医学科
12月17日	5名	大西教授	医学	医学部保健学科
1月18日	8名	中田館長 高尾教授	中央	文教地区各学部

▶ 『幕末長崎古写真館』 展に5,204人が来場



（上）同時開催のテープカット（下）博物館の研究員による展示解説

2015年12月12日～2016年1月24日の間、ボードインコレクションの収集完結を記念し、長崎歴史文化博物館で『幕末長崎古写真館 ～ボードインコレクションから～』展を開催しました。

映画『母と暮らせば』に連動した『第二楽章 男鹿和雄展 ～吉永小百合と語り継ぐ～』との同時開催で、二宮和也演じる映画の主人公が通った長崎医科大学の前身である養生所の第2代教頭ボードインが、弟とともに集めた写真とその関連資料を展示しました。大村智北里大学名誉教授のノーベル賞受賞で沸くなか、北里柴三郎につながるオランダ人医師たちの足跡を紹介することで、もうひとつの「長崎の記憶と今へ続く命の物語」を語ることができました。

最終日の1月24日は、1906年の統計開始以来最大の大雪となったにもかかわらず、80人を越える人たちにご来場いただくなど、期間全体では5,204人の入場者があり、好評のうちに終了しました。

▶ 経済学部分館ニュース



■ 経済学部長おすすめ本を展示

岡田裕正経済学部長のおすすめ本の展示を行っています。昨年9月から第1弾を、2月から第2弾を、先生のコメント付きで紹介しています。岡田先生のご専門である会計学をはじめ、歴史小説などさまざまな分野の図書を選書していただきました。

■ 1F情報サロンをオープン

昨年10月に1階を模様替えして情報サロンをオープンしました。パソコンやプリンター、DVDコーナーに加え、ソファや雑誌40タイトル、新聞10紙を置きました。学習や読書の合間にくつろげるスペースになっています。

■ ニュースレター「れす図・欄」

昨年11月から、ミニニュースレター「れす図・欄: REST-Column」を発行し、分館内で配布しています。名前の由来は、図書館に来る学生のみなさんが息抜きに読めるようにという思いから。分館にある雑誌の特集記事紹介やクイズ、利用者の写真など、経済学部分館ならではの記事です。

▶ 由井医学分館長おすすめ本を展示 (中央図書館)



1月より教員推薦コーナー第2弾として、由井医学分館長おすすめの14冊を展示しています。先生のご専門の免疫学の本から、哲学、経済学、小説など、幅広いジャンルの本が並んでいます。推薦文と共にぜひご覧ください。

免疫の意味論 / 多田富雄著

著名な免疫学者であった故多田富雄先生の執筆された本である。1993年刊行なので、免疫学としての細部は古くなってしまったが、「自己と非自己」という哲学的ともいえる問いを追求する点は、今でも新鮮味を失っていない。文学者、芸術家でもある多田先生の軽妙な文章は心地よい。

図書ID: 1469121

← 先生による推薦文

下記URLからすべて読むことができます。

http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/use/tenji/kyoin_2.html

▶ 図書館職員による論文が雑誌「医学図書館」に掲載

附属図書館職員による研究論文が、2015年7月発行の雑誌「医学図書館」62巻2号に掲載されました。この論文は、平成26(2014)年度の特設非営利活動法人日本医学図書館協会の助成研究「China Medical Board財団が戦後日本の医学図書館に与えた役割」の成果であり、戦後復興期の国内の医学図書館の発展に関する歴史を調査したものです。本論文は、**NAOSITE**でも無料公開されています。

<http://hdl.handle.net/10069/35447>

松村悠子. China Medical Boardと戦後日本の医学図書館の発展. 医学図書館. 2015;62(2):151-6.



長崎大学附属図書館医学部分館（当時。左の建物2階奥）と長崎医科大学附属図書館旧書庫（右）。1963年ごろ撮影。

■ 平成28年度の開館時間について

平成28年度の附属図書館の開館日は主に下記のとおりです。臨時休館や開館時間の変更などは、ホームページや館内掲示でお知らせします。

		平日	土日祝日
中央図書館	通常期	8:30~22:00	10:00~ 20:00
	休業期	8:30~17:00	10:00~17:00
医学分館	通年	8:30~22:00	10:00~ 20:00
経済学部分館	通常期	8:30~ 22:00	10:00~ 17:00
	休業期	8:30~ 17:00	

※**赤太字**は変更になった箇所です

■ ビッグパッドを導入しました



中央図書館グループ学習室に、**電子黒板（ビッグパッド）**を導入しました。その場で書いた手書き文字や図を、画像またはPDFファイルとして保存で

きます。**学校教員を目指すみなさんの実習準備など**に、ぜひご活用ください。

■ 図書館サポーター募集中

図書館のサポート活動をしていただく学生ボランティアを募集しています。



活動内容

- イベントの企画・実施
- 館内での展示 ● 図書館サービスの改善提案 ● ビブリオバトルなど

僕たち図書館サポーターは、図書館をより良くしようと思って活動しているボランティア団体です。自分がやりたいと思ったことをやれる団体なので、興味のある人はぜひ話を聞きに来てください。



代表
松尾知弥さん
(教育3年)



Facebookページ
<https://www.facebook.com/nulsuppo>

■ 館内のパソコンについて

図書館にはICT基盤センター設置のパソコンがあります。これらのパソコンには、学生証に表記されている「学生番号」の先頭に“bb”の2文字を付加した「長大ID」を使ってログインできます。ただし、初期パスワードは初回利用時に変更する必要があります。

上記パソコンには、Word、Excel、PowerPoint やブラウザがインストールされています。ご自分のパソコンを持って来なかったときなどにご利用ください。

設置場所	台数
中央図書館1F	10台
〃 2F	40台
医学分館1F	17台
経済学部分館1F	10台



パソコンの使い方わからないことは ICT サポートスタッフまでどうぞ！

■ 図書のリクエスト受付中

図書館に置いて欲しい図書をリクエストすることができます（本学学生・院生のみ）。カウンターおよび図書館ホームページで受付けています。ぜひ学習・研究にお役立てください。

※一人につき同一年度内10冊まで（医学分館は5冊）

今号の表紙



表紙は3階閲覧室のカウンター席です。静かでほど良い光、顔を上げると目の前は緑で、勉強や読書に最適な空間です。今号でご紹介したように、図書館には様々なニーズに対応した施設やサービスがあります。ぜひ図書館にお越しください。

和華蘭の窓 長崎大学附属図書館報 第127号 2016年4月1日発行

編集・発行 長崎大学附属図書館 〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL: 095-819-2200 Mail: libnews@ml.nagasaki-u.ac.jp URL: <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>